

エリア配置図



エリア番号	エリア名称
-------	-------

サ	長者ヶ森
---	------

エリアの位置づけ

- ・秋芳洞より北東、秋吉台国定公園の中心部に位置するカルストロード沿いのエリア。長者ヶ森は、約66種類の植物とタブを中心とした森で、公園内では希少な原生林である。
- ・富豪が世を逃れてこの地に住んだという言い伝えから、長者ヶ森と呼ばれており、親しまれるスポットである。
- ・長者ヶ森公共トイレ、長者ヶ森、長者ヶ森展望台が約1キロの遊歩道沿いに立地している。

エリア周辺の状況



- ・本エリアが面するカルストロードは秋吉台観光における定番ルートであり、隣接する長者ヶ森公共トイレ前の駐車場は、多くのバイクや自動車利用客の休憩スポットとして利用されている。
- ・本エリア周辺は、標高300～320mとカルストロード沿いでは高い位置にあり、特に長者ヶ森展望台からは秋吉台全体を見渡す絶景を楽しむことができる。
- ・本エリア周辺は、眺望のよさや星空観察等でSNS等での頻出度が高く、カメラを楽しむ利用者等が存在する。
- ・遊歩道は、長者ヶ森公共トイレ前の駐車場から徒歩のみで行き帰りをしなければならない。また案内サイン等も不十分であり、特に長者ヶ森展望台へのアクセス性は非常に悪く無目的に訪れにくい。

ポータル分析に基く施設整備に関する課題抽出・整理

- ・21-1-サ.長者ヶ森公共トイレ、22-1-サ.長者ヶ森展望台共に、ハード評価は非常に高いがソフト評価は非常に低い。とりわけ実態調査におけるGPS訪問者数は低く、認知度の拡大に貢献するような、ソフト面での改善が必要。

エリアのポテンシャル、今後の向かうべき姿

- ・カルストロード沿いで、最も秋吉台全体の景観を楽しめる立地的ポテンシャルを十分に活用した、目的性のあるコンテンツ導入やプロモーション施策などの検討が望まれる。

管理番号-棟番号-エリア番号		21-1-サ	22-1-サ		エリア総合	全施設平均
施設名称		長者ヶ森公共トイレ	長者ヶ森展望台			
ハード評価	老朽化判定	30.5	30.5			
	建築年数	37.7	29.5			
	災害危険度	25.0	25.0			
	耐震性能	50.0	50.0			
	バリアフリー性能	12.5	0.0			
合計		31.1	27.0		29.1	21.3
ソフト評価	経済的評価	13.3	13.4			
	利用状況					
	実態調査	1.2	0.3			
	満足度調査					
合計		7.2	6.8		7.0	13.9